

上田市教育委員会 6月定例会会議録

1 日 時

平成26年6月18日（水） 午後2時37分から午後3時19分まで

2 場 所

上田市教育委員会（やぐら下庁舎） 2階会議室

3 出席者

○ 委 員

委 員 長	城下 敦子
委員長職務代理者	小市 正輝
委 員	山崎 順子
委 員	寺島 滋
教 育 長	小山 壽一

○ 説 明 員

西入教育次長、浪方教育参事、齋藤教育総務課長、倉島学校教育課長、岩倉生涯学習課長、浅野文化振興課長、滝沢スポーツ推進課長、北沢丸子地域教育事務所長、柳沢真田地域教育事務所長、児玉武石地域教育事務所長、小井戸第一学校給食センター所長、神林中央公民館長、水野西部公民館長、山崎上田図書館長

○ 傍 聴 者 2名

1 あいさつ

2 〈協議事項〉

(1) スポーツ関係市長表彰について（スポーツ推進課）

資料1により滝沢スポーツ推進課長説明

小市委員

次期オリンピックの候補になられるような成績を修められ大変素晴らしいことである。ただ、3月31日に大会があり、4月23日に市長表敬訪問をされ、これから市長表彰ということで、少し期間が長くあいてしまっている。素晴らしい成績を修めたときには、早め早めに表彰し称賛してあげることが大事なことはないか。ぜひ、今後は早めにやっていただきたいと思う。

城下委員長

駅前のビルに垂れ幕が下がるが、スポーツ関係に関しては、全国大会レベル以上の方たちについて下がるのか。

浅野文化振興課長

懸垂幕は、行政だけではなく、民間の方でも下げている。

小山教育長

インターハイ出場で出すものは、それぞれの学校で行っている。

城下委員長

市として出すものには厳格な基準などはないのか。

滝沢スポーツ推進課長

調べておくようにしたい。

全委員 了承

3 〈報告事項〉

(1) こころのプロジェクト「夢の教室」の開催について（スポーツ推進課）

資料2により滝沢スポーツ推進課長説明

山崎委員

昨年、城下小学校で開催されたこころのプロジェクトを拝見させていただいた。とても素晴らしい活動であり、子どもたちの表情がより一層生き生きとしていた。その際、夢先生の行う体を動かす授業があり、また、教室に戻ってから先生が夢を抱いて今の自分がどう作られたかという話をとても丁寧に、子どもたちがわかりやすいように説明をしていて、聞いていた自分もとても楽しく、非常にいい授業であった。今年度も是非、多くの学校に取り組んでもらいたいと思っていたところに開催についての案内があった。今年は、たくさんの学校

とクラスが参加をして非常にいい展開をしていると思う。今年もどこか昨年とは違う小学校を拝見させていただきたいと思っているがその辺はどうか。

滝沢スポーツ推進課長

見学は特段問題ない。こちらからは授業参観も兼ねてやっていただいてもいいと伝えてある。ただ、例えば、いい先生だからといって学校全部を対象になると趣旨が違ってしまいうからできないということはある。委員にはご参加いただけるし、マスコミなども入るようなら事前に言っていただければ問題ない。講師が決まった時点でまたご連絡を差し上げたいと思う。

城下委員長

私は、昨年、神科小学校で開催された夢の教室を拝見させていただいた。子どもたちが本当に生き生きとしていて、体育館でも教室に戻ってからも生き生きとした目をしていてびっくりした。昨年の定例会のときにも話しが出たが、せっかくのいい授業であり、学校の先生ではない先生が指導してくださるということでもあり、子どもたちも普段と違うということもあって、生き生きしていたと思う。先生方にもそのような指導を見ていただくと、ちょっと違うアイデアで授業をしていただけるきっかけにもなるのではないかと。映像に撮っていいかどうかという問題もあるが、その場で終わらないで広がりを持たせられるような夢の教室になればいいと思う。もし、映像で撮っても構わないのであれば撮っていただいて、先生方に見ていただく機会があれば先生方の勉強にもなるのではないかと。

滝沢スポーツ推進課長

検討させていただきたい。

全委員 了承

(2) 第19回信州爆水Run in 依田川について (丸子地域教育事務所)

資料3により北沢丸子地域教育事務所長説明

城下委員長

私事であるが、第1回から第10回まで家族で参加させていただいている。子どもたちには貴重な体験である。川の中を安全に走れるようにと実行委員会の皆さんがすごく苦勞されていると思う。今の子どもたちは、川で遊んではいけないといわれている中で、このような経験はなかなかできない。楽しいイベントで、家族みんなで楽しめるものであるのもので、是非、まわりの方にも宣伝していただけるとありがたい。

山崎委員

爆水RunのPR看板を染谷高校の学生さんたちが描いてくれたと聞いたが、何か経過はあるのか。

北沢丸子地域教育事務所長

実行委員会で組織して行っているの確認したい。

小山教育長

今までは、看板のような形でのPRは出していなかった。はじめは丸子地域の事業なので丸子修学館高校の学生たちに書いてほしいということでお願いをした。しかし、ほかにも予定が入っていたため都合が悪く対応できないという中で、どこかでやってくれないかということで染谷高校にお願いをしたら引き受けていただき、大変素晴らしいものができたと聞いている。

全委員 了承

(3) 第54回上田市短詩型文学祭作品募集について(中央公民館)

資料4により神林中央公民館長説明

全委員 了承

(4) 行事共催等申請状況について(学校教育課・生涯学習課・文化振興課)

資料5-①により倉島学校教育課長説明

全委員 了承

資料5-②により岩倉生涯学習課長説明

全委員 了承

資料5-③により浅野文化振興課長説明

城下委員長

先日、長野市と千曲市で後援を承認するか否かでもめた事例があった。上田市は規定があるので大丈夫なのか。

岩倉生涯学習課長

ひとつには、公民館の貸し出し等があり、もうひとつは、行事の後援があるが、公民館については徹底していきたいと思っているが、公民館の貸し出しなどについてはできる限り貸し出しをしていきたくて考えている。今回、同じような案件で貸し出しの申し込みがあり、県を通じ国のほうまで確認させていただいた件があった。国の見解では法律等により政治的なもの、宗教的なものについては避けるようにということがある。また、特定の団体に対して貸し出しを行うのはいけないが、すべて平等に扱うものであればそれは構わないというような見解であった。そのようなことで公民館については政治色、宗教色がよほど強いものでなければできると貸し出しをしていきたくて考えている。

行事の後援・共催の関係については、公民館の貸し出しとはまた違って来る。かなりあいまいな点があるので、申請されたときには、規定にもあるがよく確認をして、できるものであれば市民の皆さま方にいろんな考え方、いろんな教育を知らしめていきたくてということで、広い意味で学習という点から後援などについては認めるような形にしていきたい。ただ、やはり、グレーゾーンがあるのでよく話を聞いた上で対外的に政治活動をするとか、押し付けなどしないような、条件付きで認める形で進めていきたい。市の基準の中では、政治的なもの宗教的なものについては認めないということが原則となっている。それらを踏まえた上で

個々に対応していきたい。

寺島委員

教育委員会としての基準か、それとも部局ごとか。

岩倉生涯学習課長

市としての基準である。ただ、市としてのものと教育関係と多少違うところがあるかもしれない。教育関係のほうでいうと、学習とか教育ということからいろいろな考え方を市民の方に知っていただきたいということで進めている。また、市のほうとすると市長部局ということで政治的にはかなり敏感なところがある。若干違いがあるが、行事共催については、連携を取りながら調整を図りながら対応をしていきたい。

寺島委員

基本的に承認されたものが掲載されており、資料を拝見すればそれは理解できる。特別な配慮などがあったものを報告するのであればいいが、新規や継続のもの報告は余り意味がないと思う。承認されたものではなく、このような理由があり承認できなかったというように、断った団体を表記することも必要ではないか。

岩倉生涯学習課長

政治的なもの、宗教的なものはグレー的なものがある。私どもの判断で迷うところがあったら、事前審査で審議等していただいて委員さん方の意見を踏まえた上で対応をしていきたいと考えている。ただ、申請が実際になって出てくるものがあるので、時間的に無理なものがあるかと思う。できる限り政治的、宗教的に強いものについては委員さん方にご審議いただければと思うのでご協力をお願いしたい。

城下委員長

行事共催の申請状況の報告については、発表の仕方、承認の仕方、報告の仕方など、今後検討をお願いしたい。

全委員 了承

4 〈その他〉

- ・神林中央公民館長より公民館だより説明

全委員 了承

閉会